

令和4年度 地域公共交通に関する自己評価概要（全体）

# 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

## ■ 地域の特性と背景

- ・市内東部から南部にかけて名鉄犬山線が走り、江南駅、布袋駅が存在。
- ・名鉄バスが10路線、大口町コミュニティバスが3路線※<sup>1</sup>運行。
- ・市内全域で、いこまいC A R※<sup>2</sup>を運行。計画的な昼間のお出かけに対し、路線バスを補完するものとして市民の足を担う。

- ・第6次総合計画では、以下のとおり拠点を位置付け、中心拠点－地域拠点間や、中心拠点同士を交通ネットワークで結び、住みやすく利便性の高いコンパクトなまちづくりをめざす。

『中心拠点』…江南駅・布袋駅を中心とする区域

『地域拠点』…江南厚生病院～KTXアリーナ周辺

(江南市スポーツセンター)

曼陀羅寺公園～江南団地周辺

## ■ 公共交通の基本的な方針

- ・コンパクトエリアについては、鉄道や路線バスを中心に市民の足を確保。
- ・コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持。
- ・市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいC A Rを運行。
- ・路線バス・いこまいC A Rで対応できない場合は、福祉タクシー（福祉施策）や通常のタクシーで市民の移動を担う。
- ・地域主体の新しい公共交通サービスの導入についてルールを定め、支援を行う。

※<sup>1</sup> 令和2年4月から運行路線増設（2路線→3路線）

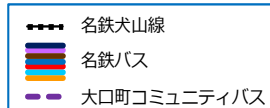
※<sup>2</sup> 市民の市内の移動手段として、市が運行するタクシーを利用した交通サービス

地域が主体となって、新しい公共交通サービスを導入する場合は、ルールを定め、必要な支援を行う。

コンパクトエリアは、鉄道・路線バスを中心に市民の足を確保。

コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持する。  
市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいC A Rを運行する。  
福祉タクシーや通常のタクシーも足を担う。

令和4年時点の市内公共交通（鉄道・路線バス）



## ■ 取組期間(総合計画と連動)

平成30年度～令和9年度（平成39年度）

## 政策評価

指標	設定理由と対策	算出方法
市民一人当たりの公共交通利用回数	利用回数の推移について、変動理由を考察。公共交通政策の方向性の確認を行い、事業に反映。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの利用者数（名鉄バスより提供）</li> <li>・いこまいC A Rの利用者数（江南市が集計）</li> <li>・大口町コミュニティバスの江南市内の停留所の利用者数（大口町より提供）</li> </ul> R4.4月からR5.3月の上記人数を合計して年間の利用回数を算出し、年度末時点の人口で割って算出。 名鉄バスの利用人数は、古知野線（2路線）、江南・病院線、江南団地線（4路線）、木曽川線、一宮・宮田線（2路線）の路線別利用者数の合計とする。 補助路線以外の利用人数は、路線ごとに年間の利用人数をOD調査（起終点調査）2日分の市内停留所の利用者数で按分したものを年間利用者数の推計値として利用。

## 事業評価

評価対象	指標	設定理由と対策	算出方法
路線バスの維持確保(補助路線)	利用者一人当たりの市負担額の推移(路線別評価)	路線別の推移について、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の維持・改善に反映。	下記の補助路線における、当該年度の補助金を、補助金算定期間であるR3.10月～R4.9月の利用者数で割って算出。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・江南・病院線</li> <li>・江南団地A線(古知野高校経由)</li> <li>・江南団地D線(ヴィアモール経由)</li> <li>・江南団地E線(団地経由江南厚生病院行)</li> </ul>
いこまいC A Rの維持確保	江南市の市負担額の推移	事業費の変動内容から、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の継続または見直し内容に反映。	該当年度の決算額を利用。

令和4年度に掲げた対応方針		令和4年度の具体的取組み事項
公共交通政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通事業者と密に連携し、利用者数の推移と事業者が受ける影響の把握に努める。</li> <li>超高齢社会への対応について、高齢者・福祉担当部局と連携し、公共交通政策と福祉政策を総合的に検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー事業者や名鉄バスと打ち合わせを行い、新型コロナウイルス感染拡大による利用者数への影響を把握し、タクシー運賃の値上げ動向や、運行ダイヤの遅延がおきているバス路線のダイヤ改正にあたり、公共交通事業者と情報共有を行った。</li> <li>いこまいCARと福祉タクシー料金助成制度併用のメリット、デメリットについて、高齢者・福祉担当部局と打ち合わせを行い、高齢者生きがい課が実施するアンケート調査において、高齢者の移動手段等の質問項目を追加した。</li> </ul>
名鉄バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用実態を適切に把握し、必要に応じてダイヤ改正により運行便数の適正化を検討する。</li> <li>利用促進に関して名鉄バスと連携した取り組みを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用状況を考慮し、令和4年10月1日からダイヤ改正により混雑している時間帯ダイヤの適正化を図った。</li> <li>名鉄バスと連携し、11月4日に開催された高齢者教室にてバスの乗り方教室で利用促進を行った。</li> </ul>
いこまいCAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者・福祉担当部局と連携して、利用実態の把握に努め、いこまいCARのPR及び利便性向上に向けた取り組みについて検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月4日の高齢者教室にて制度説明を行った。</li> <li>防災安全課及び警察署では免許返納者を対象に、保健センターでは子育て世帯を対象にチラシを配付(継続)</li> <li>タクシー事業者との協議により、運転士不足と来年度の労働時間等の基準の改正による影響への対応策を検討した。</li> </ul>

## ■ 政策評価

指標	H28(基準年)	R3(前年)
市民一人当たりの公共交通利用回数	11	9

(単位:回/人) ※小数点以下四捨五入

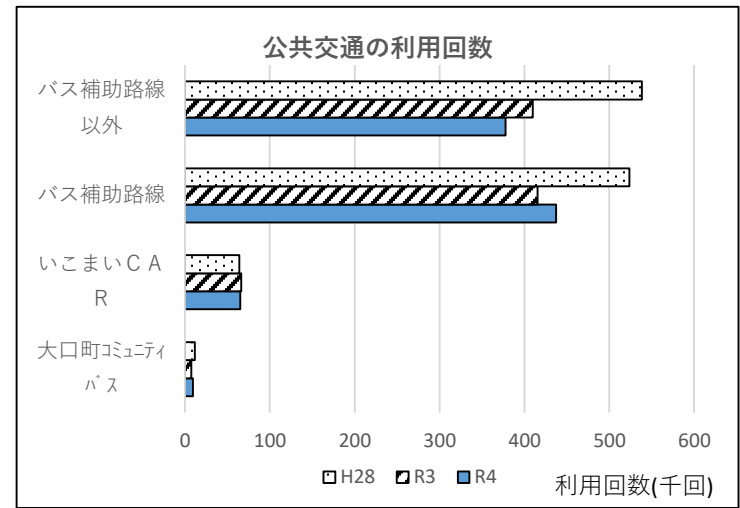
R4(評価年)	評価
9	△

### 【参考】 利用回数内訳

内訳	H28(基準年) (H28.4~H29.3)	R3(前年) (R3.4~R4.3)
名鉄バス補助路線以外(推計)	538,525	409,857
名鉄バス補助路線	523,513	415,649
いこまいC A R	63,900	66,276
大口町コミュニティバス	11,518	7,676
合計	1,137,456	899,458
年度末時点人口(単位:人)	100,915	99,362

(単位:回)

R4(評価年) (R4.4~R5.3)
377,729
437,446
65,134
9,298
889,607
98,785



### 評価に関する考察

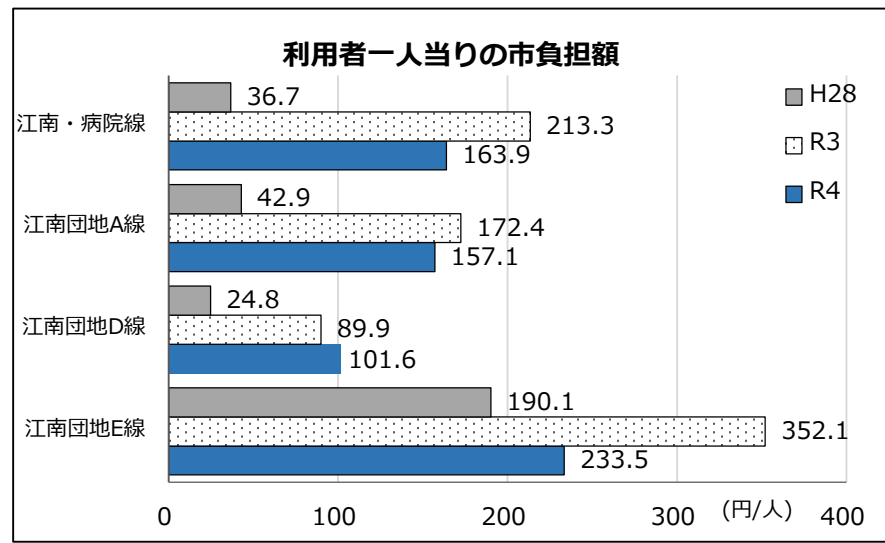
- 令和4年度の公共交通利用回数は、基準年である平成28年度との比較では、コロナ禍前の状況まで回復していない状況だが、令和3年度と比較すると特別な要因によるもの以外は、公共交通の利用が概ね回復しつつある状況と考える。
- 名鉄バス補助路線以外(推計)の利用回数の大幅な減少は、江南駅と一宮駅を発着する私立中学・高等学校の通学バスの運行が開始されたことが影響しているものと推測する。
- 名鉄バス補助路線は令和3年度と比較すると利用回数が増加しているが、これは、コロナ禍による影響が緩和するとともに、利用状況を考慮に行ったダイヤ改正により、混雑している時間帯ダイヤの適正化により利用回数が増加したと推測する。
- いこまいC A Rは、令和3年度と比較すると利用回数が減っており、これは予約が殺到する平日の朝の時間帯に予約が取り辛く、予約数に限界があるものと推測する。

## ■ 事業評価 (路線バス) ※補助路線

### 利用者一人当たりの市負担額 (年間補助額) の推移 (補助対象期間)

区分	H28(基準年) (H27.10~H28.9)	R3(前年) (R2.10~R3.9)	R4(評価年) (R3.10~R4.9)
江南・病院線	36.7	213.3	163.9
江南団地A線 (古知野高校前経由)	42.9	172.4	157.1
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	24.8	89.9	101.6
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	190.1	352.1	233.5

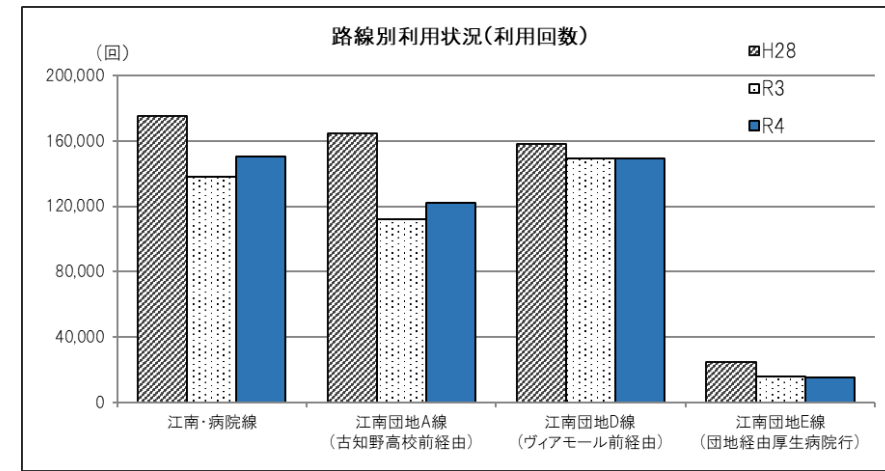
(単位:円/人)



### 年間利用回数 (補助対象期間)

区分	H28(基準年) (H27.10~H28.9)	R3(前年) (R2.10~R3.9)	R4(評価年) (R3.10~R4.9)
江南・病院線	176,574	135,413	144,582
江南団地A線 (古知野高校前経由)	166,780	112,971	118,774
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	154,591	143,804	150,738
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	24,758	19,389	16,037

(単位:回)



## ■ 事業評価（路線バス）※補助路線

## 評価に関する考察（補助対象期間における前年度比較）

## 【江南・病院線】

- ・ 1便当たりの利用者数は平成28年度は9.06人に対し、令和3年度は7.01人、令和4年度は7.53人となった。
- ・ 朝の時間帯について、コロナ禍による影響の緩和とともに、江南厚生病院や愛北看護専門学校への通勤・通学等の利用者により混雑していた時間帯ダイヤの適正化を行ったことで利用者が増加したと考えられる。
- ・ 令和4年10月から実証運行を開始した「チョイソコふそう」が扶桑町内から直接江南厚生病院へ乗り入れを行っており、江南駅－厚生病院間の利用者の減少に伴う影響を懸念している。

## 【江南団地A線】

- ・ 1便当たりの利用者数は平成28年度は7.05人に対し、令和3年度は5.17人、令和4年度は5.58人となった。
- ・ 朝、夕の時間帯に1便あたりの利用者が多いことから、コロナ禍による影響が緩和し、通勤、通学に利用する利用者が増加したと考えられる。

## 【江南団地D線・E線（共通）】

- ・ 1便当たりの利用者数について、江南団地D線は、平成28年度は9.26人、令和3年度は8.25人、令和4年度は8.50人となった。江南団地E線は、平成28年度は6.76人、令和3年度は6.93人、令和4年度は8.23人となった。
- ・ 令和3年4月よりE線を減便し、D線に振り替え、増便したことで、利用者は増加したが、実車走行距離が増加し、D線の1人あたりの補助額については増加した結果となった。 ※平日の便数を1日当たり1便増→江南団地E線からD線に振替

## 【江南団地E線：江南団地～江南厚生病院間】

- ・ (昨年度と同様に) 利用者（区間内のバス停留所乗降者数）が極めて少数となっている。 ※当年度のバス停留所比較

■ 事業評価 (いこまいCAR)

市負担額の推移

	H28(基準年)	R3 (前年)
江南市の市負担額	32,002,680	31,940,690



(単位:円)

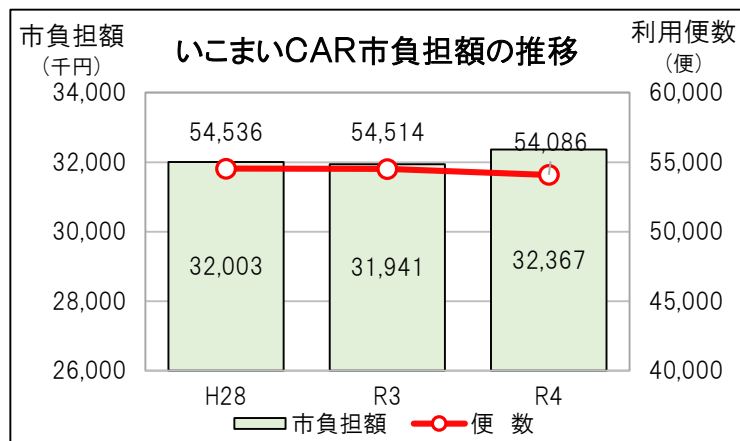
R4 (評価年)
32,366,510

年間利用状況 (※令和元年10月1日から立寄りを開始)

区分	H28 (基準年)	R3 (前年)
利用便数	54,536	54,514
利用回数	63,900	66,276
登録者数	7,264	8,637
利用者数	2,229	2,351
立寄り件数	—	730

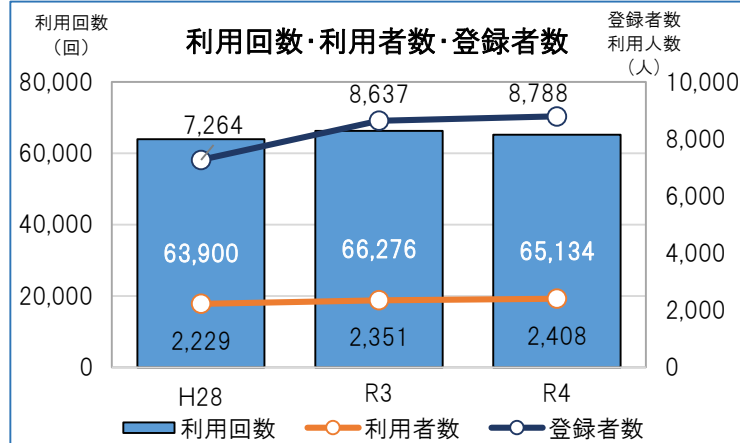
(単位:便・人)

R4 (評価年)
54,086
65,134
8,788
2,408
819



評価に関する考察

- 登録者が前年より151人増加し、通院や買い物での利用が多いことから、今後も高齢者の増加により、いこまいCARの登録者の増加が見込まれる。
- タクシーの運転士不足等により、運行できる車両が限られているため、運行がひっ迫している時間帯がある。平日朝は通院のための利用が多く、予約が取りづらい状況となっており、いこまいCARの現行制度での運行が限界となっていないかタクシー事業者と協議する必要がある。
- 立寄り件数は増えており、利用方法が浸透し、利便性が向上していると考えられる。





課題		対応方針（令和5年度取組み事項）
公共交通政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通利用回数の減少や、運転士不足、来年度の労働時間等の基準の改正が、公共交通政策全体に与える影響を見定める必要がある。</li> <li>超高齢社会の進展に伴い、安定した公共交通サービスを提供することができるか懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通事業者と密に連携し、利用者の動向を把握するとともに、今後の運転士が置かれる状況を考慮して新たな公共交通について先進自治体の情報収集や交通事業者との協議により調査・研究していく。</li> <li>超高齢社会への対応について、実態調査の結果を参考に高齢者・福祉担当部局と連携し、公共交通政策と福祉政策を総合的に検討する。</li> </ul>
名鉄バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もコロナ禍前の利用状況に戻ることは難しいと想定されていることから、利用促進を図る取り組みが必要である。</li> <li>運転士不足や来年度の労働時間等の基準の改正に伴う路線バスの維持・確保への影響が懸念される。</li> <li>新たな公共交通を導入する場合に、路線バスが安定して継続できるか懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの利用が安定的に継続されるよう、利用実態を適切に把握し、必要に応じてダイヤ改正により運行便数の適正化を図る等利便性の維持につながる対応策を検討する。</li> <li>利用促進に関して名鉄バスと連携した取り組みを実施する。</li> <li>新たな公共交通の導入による路線バスへの影響が最小限となるように検討する。</li> </ul>
いこまいCAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要の拡大に対し、運転士不足等により、供給が追いつかず運行がひっ迫している時間帯がある。</li> <li>来年度の労働時間等の基準の改正に伴い、今後の制度維持への影響が懸念される。</li> <li>定額・低料金制や市外利用、当日予約等の要望を受けているが、利便性の向上に対してタクシー事業者が対応可能か見極める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性の向上につながる制度の見直しや労働時間等の基準の改正に伴う影響について、タクシー事業者と協議し、今後のいこまいCAR制度の在り方について検討する。</li> <li>いこまいCARの運行のひっ迫を軽減するため、新たな公共交通として乗合型のオンデマンド交通について検討する。</li> </ul>

令和4年度 地域公共交通に関する自己評価概要（経緯）

# 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

## ■ 市内バス路線・路線図の配布

→市内バス停・路線図を防災安全課および警察署で配布。市役所 1 階西ロビーにて掲示。

## ■ 公共交通PRチラシの配布

→名鉄バスの市内中心路線である江南・病院線の利用促進のため、江南厚生病院に勤務する職員および愛北看護専門学校（愛北看護専門学校）の学生宛てにPRチラシを配布。

## ■ 若い世帯（子育て世帯）へのいこまいCARのPR

→いこまいCARのチラシ（持ち運び可能な名刺サイズ）を保健センターで配布。

## ■ 高齢者教室でのPR

→名鉄バスの乗降体験及びいこまいCARの制度説明と利用登録を実施。



### 名鉄バスをご利用ください

江南厚生病院～江南駅は通勤に便利な名鉄バスが走っています！



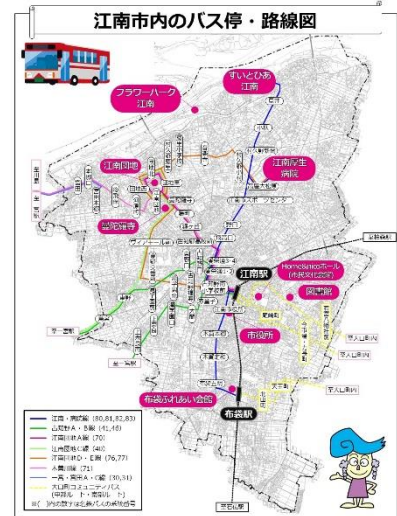
### ★ 出発の時間帯（平日・江南厚生病院方面行き） (2021年4月1日現在)

江南厚生病院	6:35 (江南厚生病院行き)	江南厚生病院	6:45
江南厚生病院	6:57 (すいとんが江南行き)	江南厚生病院	7:07
江南厚生病院	7:35 (江南厚生病院行き)	江南厚生病院	7:45
江南厚生病院	7:50 (すいとんが江南行き)	江南厚生病院	8:00

### 🌙 通勤の時間帯（平日・江南駅方面行き）

江南厚生病院	16:45 (市役所行き)	江南厚生病院	16:55
江南厚生病院	17:25 (江南駅行き)	江南厚生病院	17:34
江南厚生病院	17:45 (市役所行き)	江南厚生病院	17:55
江南厚生病院	18:25 (江南駅行き)	江南厚生病院	18:34

江南厚生病院～江南駅間（所要時間約10分）  
江南厚生病院～市役所間（所要時間約15分）  
江南厚生病院～市役所～江南駅間（所要時間約20分）  
江南厚生病院～市役所～江南駅間（所要時間約25分）  
江南厚生病院～市役所～江南駅間（所要時間約30分）



### いこまいCAR (予約便)

○予約方法

- 前日（午前10時～午後9時）までに予約
- 予約先

名鉄タクシー56-4545 尾張タクシー54-1515  
愛北タクシー55-2266 犬山タクシー54-2380

市役所 都市計画課 ℡54-1111



### いこまいCAR (予約便)

いこまいCAR (予約便) は、メーター運賃の半額でタクシーが利用できるサービスです。（ただし、江内市内の移動に限ります）

（運賃料金は、利用者負担です）

＜利用方法＞

事前登録⇒タクシー会社へ（利用前日までに）予約（当日利用はできません）

いこまいCAR (予約便) は、このような時にも利用できます。

（例）

- ★子どもが体調を崩し、明日、病院に連れて行きたい
- ★市内の病院・スーパーに行きたい

※1 登録について

下記窓口（電話受付可）にて受付しております。

問合せ 江内市役所  
都市計画部 567ルース  
(0587) 54-1111 (内線385)

↓ご自由にお取りください↓